

法人（事業所）理念		自立に向けて、早期療育に取り組みながら、子どもたちが楽しく安全に社会生活を送ることができるように取り組んでいきます。									
支援方針		子どもたちが楽しく通い、色々な体験を通して、自信を持って過ごす事ができ、身の回りのことが少しずつ自立できるように支援の行います。またコミュニケーション方法や人との関わり方を一緒に学んでいけるよう支援していきます。									
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・日々の健康状態を把握し、子どもの少しの変化を見逃さず、きめ細やかに確認をしていきます。また睡眠、食事、排せつ、衣服の着脱、身の回りのことなど基礎的生活の獲得を身に付けられるように支援していきます。 ・生活の中で様々な遊びや体験を通した学びが促進させられるよう環境を整えたり、障がい特性に配慮し時間や空間を分かりやすく構造化していきます（スケジュール提示、時間提示、環境の調整など）。									
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持のための上肢・下肢の運動、体幹を鍛えたり、筋力や体力の強化を図っていけるよう支援していきます。また遊びを通し、様々な保有する感覚を使うことで体の使い方や力の加減を身に付けていけるよう支援していきます。 ・感覚特性（感覚過敏、鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をしていきます（ボール遊び、なわとび、おにごっこ、工作、折り紙、粘土遊びなど）。									
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す支援をしていきます。 ・物の機能や属性、形、色、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、認知理解を深めていけるよう支援していきます（時間提示、距離感、スケジュール提示など）。									
	言語 コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、指差し、うなずき、首振りなどを使用して、意思表示ややりとりができるよう支援していきます。 ・相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど言葉を受容し表出することができるように支援していきます。また場や相手の状況に応じてコミュニケーションを展開できるように支援していきます（言葉遊び、ジェスチャーゲーム、伝言ゲーム、かるた、文字遊びなど）。									
	人間関係 社会性	・子どもが信頼関係を持つことができるように環境に対する安心感、信頼感、自分に対する信頼感を育むことができるよう支援していきます。 ・自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで安心感を得て、自分の感情に折り合いをつけることができるよう、アタッチメント（愛着）の安定を図っていきます。									
家族支援		・家族の方と嬉しかったこと・成長したことなど一緒に喜びを感じていきます。また家族に寄り添いながら、困りごとを聞き、一緒に解決方法を考えたり助言していきます。関係機関との連携を図っていきます。						移行支援		・移行先（幼稚園・保育園・事業所等）への引継ぎの会議、移行先との支援方針、支援内容の共有・支援方法についての伝達を行います。	
地域支援・地域連携		・保育園・幼稚園との情報交換 ・戸外活動を通して、地域の子どもたちとの交流活動						職員の質の向上		・サービス提供する支援の質を向上させるため、定期的な職員の研修や虐待防止、身体拘束、非常災害、感染症対策などの内部研修。外部研修で福祉の動向や取り組み支援。他事業所との交流による情報交換。	
主な行事等		・季節の製作、季節の行事 ・避難訓練（火災、地震、不審者訓練等） ・近隣公園などの戸外活動、製作、運動・感覚遊び、言葉遊び、ルール遊び等									

法人（事業所）理念		自立に向けて、早期療育に取り組みながら、子どもたちが楽しく安全に社会生活を送ることができるように取り組んでいきます。										
支援方針		子どもたちが楽しく通い、色々な体験を通して、自信を持って過ごす事ができ、身の回りのことが少しずつ自立できるように支援の行います。またコミュニケーション方法や人との関わり方を一緒に学んでいけるよう支援していきます。										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・日々の健康状態を把握し、子どもの少しの変化を見逃さず、きめ細やかに確認をしていきます。また睡眠、食事、排せつ、衣服の着脱、身の回りのことなど基礎的生活の獲得を身に付けられるように支援していきます。 ・生活の中で様々な遊びや体験を通した学びが促進させられるよう環境を整えたり、障がい特性に配慮し時間や空間を分かりやすく構造化していきます（スケジュール提示、時間提示、環境の調整など）。										
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持のための上肢・下肢の運動、体幹を鍛えたり、筋力や体力の強化を図っていけるよう支援していきます。また遊びを通し、様々な保有する感覚を使うことで体の使い方や力の加減を身に付けていけるよう支援していきます。 ・感覚特性（感覚過敏、鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をしていきます（ボール遊び、なわとび、おにごっこ、工作、折り紙、粘土遊びなど）。										
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す支援をしていきます。 ・物の機能や属性、形、色、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、認知理解を深めていけるよう支援していきます（時間提示、距離感、スケジュール提示など）。										
	言語 コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、指差し、うなずき、首振りなどを使用して、意思表示ややりとりができるよう支援していきます。 ・相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど言葉を受容し表出することができるように支援していきます。また場や相手の状況に応じてコミュニケーションを展開できるように支援していきます。読み書き能力の向上のための支援をしていきます（言葉遊び、ジェスチャーゲーム、スリーヒントゲーム、伝言ゲーム、なぞなぞ、かるた、文字遊び、本読みなど）。										
	人間関係 社会性	・子どもの情緒の安定、大人が相談にのることで安心感を得て過ごす事ができるように支援していきます。他者との関わりの中で、他者の気持ちや意図を理解し、他者からの関わりを受け止め、それに対して適切な返答や行動ができるよう支援していきます。また遊びを通じて、人の動きを模倣したり、ごっこ遊びや役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して社会性の発達を支援していきます（ルール遊びを用いたゲーム、チーム参加の活動など）。										
家族支援		・家族の方と嬉しかったこと・成長したことなど一緒に喜びを感じていきます。また家族に寄り添いながら、困りごとを聞き、一緒に解決方法を考えたり助言していきます。関係機関との連携を図っていきます。							移行支援		・移行先（幼稚園・保育園・学校・児童クラブ、事業所等）への引継ぎの会議、移行に見据えた準備や支援	
地域支援・地域連携		・学校との情報交換 ・戸外活動を通して、地域の子どもたちとの交流活動、地域の社会科見学							職員の質の向上		・サービス提供する支援の質を向上させるため、定期的な職員の研修や虐待防止、身体拘束、非常災害、感染症対策などの内部研修。外部研修で福祉の動向や取り組み支援。他事業所との交流による情報交換	
主な行事等		・地域の社会科見学、季節の行事（初詣、節分、プール、夏祭り等） ・避難訓練（火災、地震、不審者訓練等） ・近隣公園などの戸外活動、製作、運動・感覚遊び、言葉遊び、ルール遊び、買い物支援、体験等										